学校番号	105

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習ＩＡ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新課程 リンク 数学演習Ⅰ･A 受験編 approach+basic+challenge						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業は問題の解き方や考え方を中心に、演習形式で授業を進めます。
数学では過去に習った公式は次の授業では使えるものとして進めていきます。そのため、数学Ⅰ・数学Aで学習した内容の復習が事前にできていないと理解が難しくなります。また、演習で取り上げる問題を事前に予習しておくことで必要な公式の確認ができるので解答が容易になります。問題をまず自分で解いてみること。ただ答を求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
単元の枠を越えて総合的な内容を問う問題を多く扱うことにより、
基本事項と基本的な考え方を把握し、高度な計算技術を習得し、それらを活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】
１学年時に学習した数学Ⅰ・数学Aの復習を兼ねた段階的な問題演習を通して、
公式等をより深く学び、自ら問題を解く力または解決の過程を表現する力を身に着ける。
【学びに向かう力、人間性等】
数学を多方面に活用しようとする態度、問題演習の過程を振り返り、評価し、
改善につなげようとする態度を示す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数量や図形及びそれらの関係などに着目して、公式の理解を深めるとともに、複雑な問題を解答するために必要な知識・技能を身につける。	問題演習を通して内容を理解し、そのうえで途中の立式・計算を含めて解答を記述表現できるようにする。	問題の解法を授業内で発表する作業を通してさらに難解な問題を自ら見つけ出し、解答できる力をつける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学Ⅰ	数と式 2次関数 集合と命題	a:　基本的な概念、原理、法則を理解し、知識を身につけている。公式についてはその理由や途中の式変形についても説明することができる。 b: いろいろな式の見方をすることや、目的に応じて式を変形する方法を考察することができる。公式を用いて複雑な式が簡単な式に帰着できることを理解し、それらを多面的、統合的に考察したりすることができる。 c: 各項目に関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでおり、式を用いて事象を適切に表現することや、式を目的に応じて見通して変形し、入試問題に活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 課題	課題授業への取り組み(問題演習)

	数学A	場合の数と確率	a：基本的な概念、原理、法則を理解し、知識を身につけている。公式についてはその理由や途中の式変形についても説明することができる。 b：いろいろな条件の見方をすることや、目的に応じて式を変形する方法を考察することができる。公式を用いて場合の数が計算できる事を理解し、それらを多面的、統合的に考察したりすることができる。 c：各項目に関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでおり、図や表を用いて事象を適切に表現することや、式を目的に応じて見通して変形し、入試問題に活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 課題	課題 授業への取り組み （問題演習）
2学期	数学Ⅰ	図形と計量	a：基本的な概念、原理、法則を理解し、知識を身につけている。公式についてはその理由についても説明することができる。 b：いろいろな作図をすることや、目的に応じて式を変形する方法を考察することができる。公式を用いて複雑な式が簡単な式に帰着できることを理解し、それらを多面的、統合的に考察したりすることができる。 c：各項目に関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでおり、公式を用いて事象を適切に表現することや、式を目的に応じて見通して変形し、入試問題に活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 課題	課題 授業への取り組み （問題演習）

	数学A	図形の性質	a：基本的な概念、原理、法則を理解し、知識を身につけている。公式についてはその理由や図形の位置関係等についても説明することができる。 b：いろいろな式の見方をすることや、目的に応じて作図する方法を考察することができる。公式を用いて複雑な図について問題が解けることを理解し、それらを多面的、統合的に考察したりすることができる。 c：各項目に関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでおり、式を用いて事象を適切に表現することや、公式を目的に応じて見通して適切に使用し、入試問題に活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 課題	課題 授業への取り組み （問題演習）
3学期	数学Ⅰ	データの分析	a：基本的な概念、原理、法則を理解し、知識を身につけている。公式についてはその理由や途中の式変形についても説明することができる。 b：いろいろな値の見方をすることや、目的に応じて統計の方法を変える方法を考察することができる。様々な値を多面的、統合的に考察したりすることができる。 c：各項目に関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでおり、式や図表を用いて事象を適切に表現することや、値の変化を目的に応じて見通して理解し、入試問題に活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 課題	課題 授業への取り組み （問題演習）

	数学A	数学と人間の活動	a: 基本的な概念、原理、法則を理解し、知識を身につけている。公式についてはその理由や途中の式変形についても説明することができる。 b: いろいろな値の表記をすることや、目的に応じて値を変える方法を考察することができる。公式を用いて複雑な式が簡単な式に帰着できることを理解し、それらを多面的、統合的に考察したりすることができる。 c: 各項目に関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでおり、式を用いて事象を適切に表現することや、式を目的に応じて見通して変形し、入試問題に活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 課題	課題 授業への取り組み (問題演習)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度